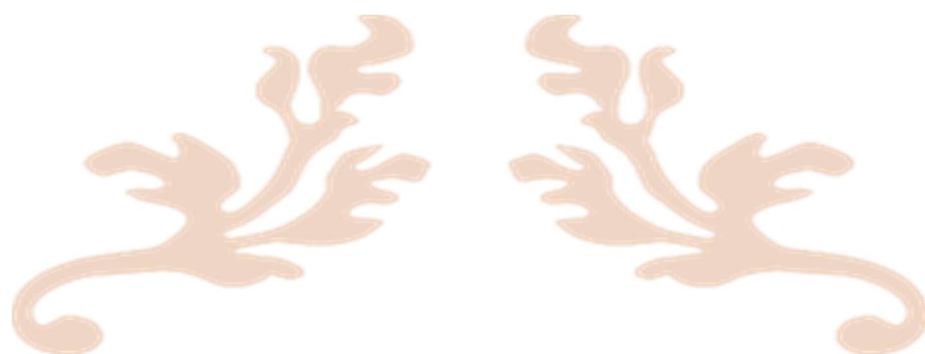
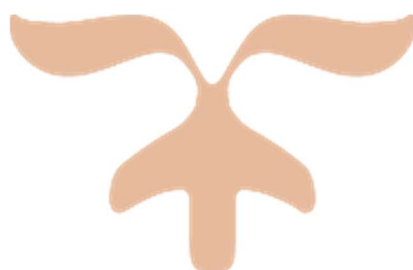




令和8年度後期 高大連携授業
授業計画書
科目概要



大学コンソーシアムあきた

目 次

〔1〕 文化学入門（秋田大学）	1
〔2〕 社会学で身近なことを考えてみる（秋田大学）	2
〔3〕 大学にて生き物を顕微鏡観察する（秋田大学）	3
〔4〕 覗いてみようメディカルスタッフの研究（秋田大学）	4
〔5〕 AI の数理（秋田大学）	5
〔6〕 Python でデータサイエンスに挑戦!?（秋田大学）	6
〔7〕 整数論と暗号理論（秋田大学）	7
〔8〕 化学の目で最新のニュース解説（秋田大学）	8
〔9〕 身近な有機化学・有機化合物（秋田大学）	9
〔10〕 モビリティ電動化のための周辺技術（秋田大学）	10
〔11〕 ロボットプログラミング（秋田大学）	11
〔12〕 OR・データサイエンス入門（秋田県立大学）	12
〔13〕 植物バイオテクノロジーと国際貢献（秋田県立大学）	13
〔14〕 動物心理学について学んでみよう（秋田県立大学）	14
〔15〕 翻訳文学を楽しもう！（秋田県立大学）	15
〔16〕 不思議な木（秋田県立大学）	16
〔17〕 国際教養学への招待（国際教養大学）	17
〔18〕 企業事例で学ぶ経営学（ノースアジア大学）	18
〔19〕 ChatGPT 時代の英語勉強法（ノースアジア大学）	19
〔20〕 “私”ってなんだろうー自分の心がわからない……（ノースアジア大学）	20

〔21〕 高校生のための看護学入門（日本赤十字東北看護大学）	21
〔22〕 ようこそ保育の道へ（聖霊女子短期大学）	22
〔23〕 地域食材の魅力を再発見するスイーツ実習（聖霊女子短期大学）	23
〔24〕 高齢者の身体的特性と生活支援（日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部）	24
〔25〕 楽しく学べる保育科入門（聖園学園短期大学）	25
〔26〕 オリジナルペン立てを作ろう（秋田職業能力開発短期大学校）	26
〔27〕 電子回路の設計から製作までを体験しよう（秋田職業能力開発短期大学校）	27
〔28〕 木材の強度性能の把握（秋田職業能力開発短期大学校）	28

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (タイトル)	〔1〕文化学入門 (ヨーロッパの文化に触れてみよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 講師 中村寿 (計1名)
授業概要	明治時代には本県の鉱山にドイツ出身の技師が滞在しています。日本とドイツの交流をたどりながら、ドイツの文化、近代史（第二次世界大戦、東ドイツ）、歌劇場、文学について解説していきます。		
授業方針	ドイツの博物館には八森鉱山絵巻が所蔵されているなど、本県には遠い外国と交流してきた歴史があります。ドイツという鏡に映る秋田の考察を通じて、秋田に関する知識を深められるような授業にしたいと思っています。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室4		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「産業遺産（鉱山）に見るドイツの足跡」 ＜10月7日（水）17:30～19:00＞ ドイツ人の足跡は、小坂鉱山（小坂町）、阿仁鉱山（北秋田市）、院内銀山（湯沢市）からたどることができます。ドイツに注目しながら、郷土の歴史にも触れてみよう。 第2講：「過去とともに生きる」 ＜10月14日（水）17:30～19:00＞ そもそもナチスとは何だったのか？ ユダヤ人とはだれなのか？ 戦争の経験によって形づくられたドイツ人の過去への向き合い方に触れてみよう。 第3講：「文学（森鷗外）に見るドイツの足跡」 ＜10月28日（水）17:30～19:00＞ ドイツ出身の鉱山技師が県内の鉱山で活動していたのとほぼ同じ時期、森鷗外が医学の研究のためにドイツに滞在しています。代表作『舞姫』から、十八世紀ドイツの雰囲気を味わおう。 第4講：「現代ドイツに触れてみよう」 ＜11月4日（水）17:30～19:00＞ ドイツ人にとってドイツ語は勉強するものであり、母語は地元の方言です。ABC、アーベーツェー、Guten Tag! グーテン・ターク（こんにちは）など、ドイツ語に触れながら、移民社会の現実にもせまってみよう。			
その他	筆記用具、ノート		
テキスト	授業内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	森鷗外『舞姫・うたかたの記』岩波文庫		
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔2〕社会学で身近なことを考えてみる (「自分の考え」の作り方)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 教授 和泉 浩 (計1名)
授業概要	身近なことをとりあげながら社会学という学問とその考え方を説明します。受講してもらって社会や生活、人間関係の見方が少し違ってくると思います。		
授業方針	受講人数によりますが、グループで話し合ったり、教員と意見交換をしながら進めていきます。予備知識は必要ありません。探究活動などの考え方や進め方のヒントにもなる内容だと思います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「社会学の考え方」 <10月21日(水)17:30～19:00> 社会学の基礎となる考え方について説明します。 第2講: 「社会や生活を見直してみる」 <10月28日(水)17:30～19:00> 社会学の考え方を使って、身近なことを考えてみます。 第3講: 「自分の考え方の作り方」 <11月4日(水)17:30～19:00> 身近なことを考えながら、自分の考えの作り方を学びます。			
その他	特にありません。		
テキスト	資料しません。		
参考文献	関連するものを授業のなかで紹介する予定です。		
関連科目	特にありません。		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[3] 大学にて生き物を顕微鏡観察する (顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 教授 石井 照久 (計1名)
授業概要	ウイルスは電子顕微鏡がないと確認できません。電子顕微鏡が発明される前に、顕微鏡が1600年代に発明されました。本科目では、生き物を対象に顕微鏡観察を行いミクロの世界を実感します。		
授業方針	受講者には、大学の実験室に来てもらい、各自で顕微鏡観察等を行ってもらいます。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部4号館 307実験室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「顕微鏡の発明者」 ＜10月5日(月)17:30～19:00＞ ・最初に発明された顕微鏡を真似て自作します。 ・スマホ顕微鏡も体験します。			
第2講: 「生物顕微鏡の世界1」 ＜10月19日(月)17:30～19:00＞ ・身近な生き物の観察を通して顕微鏡操作を学びます。			
第3講: 「生物顕微鏡の世界2」 ＜10月26日(月)17:30～19:00＞ ・身近な食材を観察します。			
第4講: 「生物顕微鏡の世界3」 ＜11月2日(月)17:30～19:00＞ ・身近な微生物と染色体構造を観察します。			
第5講: 「実体顕微鏡の世界 (クマムシをみたい)」 ＜11月9日(月)17:30～19:00＞ ・簡易ベールマン装置で土壌動物を採集し、実体顕微鏡で観察します。			
その他	毎回、可能ならスマホを持参してください。スマホで顕微鏡写真を撮影できます。タブレットやデジカメでも代用できます。会場ではスリッパを準備していますが、上履き持参も可です。		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
関連科目	なし		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名	〔4〕覗いてみようメディカルスタッフの研究	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	医学部 保健学科 助教 津軽谷 恵 (計3名)
授業概要	医療職の中でメディカルスタッフと言われている看護職、理学療法士、作業療法士はどのような研究をしているか知っていますか。今まで知らなかった学問の世界が広がる内容です。		
授業方針	研究と言っても堅苦しい講義ではありませんので是非参加してください。看護職、理学療法士、作業療法士への理解が深まるお話です。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「がんと向き合う患者と家族を支える看護」 准教授 赤川 祐子 <10月7日(水)17:30～19:00> がんと向き合う患者とその家族、子どもたちに寄り添う看護のあり方を、実際のかかわりや支援の工夫を交えてお話しします。 「病気を診る」だけではなく、「人の人生に寄り添う」看護の魅力を、ぜひ感じてみてください。 第2講: 「リハビリテーションと肺・心臓の病気」 教授 佐竹 将宏 <10月14日(水)17:30～19:00> 肺や心臓の病気が生活や運動に及ぼす影響を、リハビリテーション研究の視点から紹介し、息切れや体力低下への対応、安全な運動、日常生活の工夫など、理学療法士の仕事についてお話しします。 第3講: 「自分が望む生活を考える」 助教 津軽谷 恵 <10月21日(水)17:30～19:00> 普段何気なく送っている日常生活が病気やけがなどで一変したら、皆さんは何に価値をおいてどう過ごしたいですか? その過ごしたい生活に焦点を当てた作業療法の介入についてお話をします。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔5〕 AIの数理 (AIを構成する三つの神器 『線型代数・微分積分・確率統計』)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 教授 山村明弘 (計1名)
授業概要	AIの仕組みを紐解きながら、大学数学の「線型代数」「微分積分」「確率統計」がAIの構成にどう活かされているかを学びます。高校で学ぶ数学が未来の技術に直結する面白さを実感します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加えて実験や実習を通して数学が我々の生活に役立っていることを感じることができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「現実を空間に変える「線形代数」とAIの「判定関数」」 ＜11月14日(土)11:10～12:40＞ ChatGPTなどの身近なAIを入り口に、言葉やデータを高次元の「座標 (ベクトル)」へ変換する仕組みを解説。高校の2次関数が、予測の正誤を測る『判定関数』に変貌する姿を通じ、数学がAIの知能を司る本質を体感します。 第2講: 「多次元関数の最小化: 数理最適化と確率的アプローチ」 ＜11月14日(土)13:20～14:50＞ 複雑な高次元関数の中から、「微分 (偏微分)」を指標にして最適な解 (谷底) を探索するプロセスを解説。局所最適解 (偽物の谷底) という数学的な罠を、「確率」のランダムさで突破する現代AIの知恵を学びます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目	数学、情報		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔6〕 Pythonでデータサイエンスに挑戦!? (データから始める数理科学の世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 助教 橋爪 恵 (計2名)
授業概要	現代社会においてデータの把握は必要不可欠な技術です。データの分布や相関などを調べ理解する方法として、データの可視化・視覚化・グラフ化は重要な第1歩です。本講義ではPythonを用いて様々なデータの構造を考えます。		
授業方針	Pythonを用いた実習（実データの可視化・視覚化・グラフ化）を行い、データをどのように把握するとわかりやすいのかを体感できる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部1号館102講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「データサイエンスって何ができるの？データってどんなのがあるの？」 助教 橋爪 恵 助教 Khaing Hsu Wai ＜10月24日(土)9:30～11:00＞ データの種類とデータを可視化する必要性を紹介し、適切な幾何学を考えます。また、Pythonを導入し様々な図・模様を描いてみましょう。 第2講：「Pythonでデータの可視化に挑戦」 助教 橋爪 恵 助教 Khaing Hsu Wai ＜10月24日(土)11:10～12:40＞ 一般公開されている実データから好きなデータを自分で可視化します。他の人にどんなデータなのか伝えるのに適切な図を描いてみよう。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名	〔7〕 整数論と暗号理論	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 教授 山村明弘 (計1名)
授業概要	整数論は抽象的で難解とされていますが、情報セキュリティの根幹を担う暗号技術に活用されています。この授業では素数の性質や素因数分解からフェルマーの定理まで初等整数論の理論と応用について紹介します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加えて実験や実習を通して数学が我々の生活に役立っていることを感じることができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「素数の性質と素因数分解」 <11月15日(日)11:10～12:40> 素数の性質と最大公約数を求めるユークリッドの互除法を活用して関連する不定方程式 (Bezoutの等式) を解いてみます。素因数分解に関連する様々な話題を紹介します。 第2講: 「初等整数論と公開鍵暗号」 <11月15日(日)13:20～14:50> 整数論を活用した公開鍵暗号技術であるRSA暗号の仕組みを平易に解説します。純粋数学の整数論が情報セキュリティに役に立っていることを理解して、整数論を活用した応用技術について学びます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目	数学、情報		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔8〕 化学の目で最新のニュース解説 (化学の視点でニュースを理解しよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 応用化学生物学科 教授 寺境 光俊 (計3名)
授業概要	化学は、縁の下での力持ちとして、現代社会の様々な分野で活用されています。本授業では最近ニュースで話題になっているトピックスを取り上げ、化学の視点から原理や問題点などを分かり易く解説します。		
授業方針	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、最新の話題を化学の観点から易しく楽しく解説したいと思います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合環境理工学部4号館229教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 40名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「マイクロプラスチック問題とは？」 教授 寺境 光俊 ＜11月7日(土)9:30～11:00＞ プラスチック材料は我々の社会で欠かすことの出来ない素材となっていますが、最近マイクロプラスチック問題という新たな課題に直面しています。高分子化学の観点から分子構造と特性について分かり易く解説します。			
第2講: 「リチウムイオン電池の仕組みと魅力を理解しよう」 教授 大川 浩一 ＜11月7日(土)11:10～12:40＞ 今や生活の必需品であるスマートフォン。その電力供給源は、2019年のノーベル化学賞で注目された「リチウムイオン電池」です。その仕組みや魅力について、電気化学の視点から分かり易く解説します。			
第3講: 「水素はどうやって作って、何に使うのか？」 准教授 松本 和也 ＜11月7日(土)13:20～14:50＞ 「水素」は次世代のクリーンエネルギーとして注目されています。水素がどのように製造されるかや、水素の利用先の代表例である燃料電池について、基礎から最新の話題まで分かり易く解説します。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名	〔9〕 身近な有機化学・有機化合物	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部/総合環境理工学部 生命科学科/応用化学生物学科 教授 藤原憲秀 (計1名)
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。		
授業方針	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「「有機化合物のかたち」」 ＜11月7日(土)9:30～11:00＞ 身近な有機化合物の「分子のかたち」に関わる話題を説明します。			
第2講: 「「スパイスの色と香りと刺激の有機化合物」」 ＜11月7日(土)11:10～12:40＞ スパイスやハーブに含まれる有機化合物を紹介します。簡単な演示実験もあります。			
第3講: 「色調の変化する人工色素の有機化学」 ＜11月7日(土)13:20～14:50＞ 機能を持った人工色素について紹介します。簡単な演示実験もあります。			
第4講: 「健康と天然有機化合物」 ＜11月14日(土)9:30～11:00＞ ヒトの健康に関わる天然由来の有機化合物の話題を紹介します。			
第5講: 「自然毒の有機化学」 ＜11月14日(土)11:10～12:40＞ ヒトの健康に関わることの続きですが、食中毒に関わる毒素の話題を紹介します。			
その他			
テキスト	講義の各回資料を配布します。		
参考文献	配布資料に掲載します。		
関連科目	化学基礎・化学 家庭 (食品)		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名	〔10〕モビリティ電動化のための周辺技術	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 社会システム工学科 モビリティコース 教授 大口 健一 (計4名)
授業概要	モビリティ電動化を進める上で必要となる技術を学ぶ講義である。再生可能エネルギーの活用、航空機とそのECSの電動化、マグネシウムの有効利用、次世代パワー半導体の実装を進めるための技術について解説する。		
授業方針	初学者に配慮した講義内容とし、スライドを用いてわかりやすく解説する。本授業を受講することで、未来のモビリティ社会を創造する分野の魅力に触れてもらいたい。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-3191 E-mail：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail： 第1講：mishimal@gipc.akita-u.ac.jp 第2講：adachi@gipc.akita-u.ac.jp 第3講：ksaito@gipc.akita-u.ac.jp 第4講：ken@gipc.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「モビリティ電動化の前に 一再生可能エネルギーという選択肢ー」 教授 三島 望 ＜10月1日(木)17:30～19:00＞ モビリティの電動化を進めても、発電の環境影響を低減しない限り持続可能な社会は実現できない。気候変動の問題が重要視されている現在、二酸化炭素の排出が少なく、自然環境の保全も可能な発電方法の導入が必要不可欠である。講義では各種の再生可能エネルギーについて概説するとともに、その得失についても説明する。			
第2講：「航空機の電動化と環境維持装置」 教授 足立 高弘 ＜10月8日(木)17:30～19:00＞ 航空機電動化の背景と技術動向を概説し、省エネルギー化・低炭素化への貢献を解説する。特に電動推進や電源システムの発展に加え、空調・与圧・除氷などを担う環境維持装置（ECS）の役割と高効率化技術に焦点を当て易しく解説する。			
第3講：「マグネシウム循環によるグリーンイノベーション」 教授 齋藤 嘉一 ＜10月15日(木)17:30～19:00＞ マグネシウム循環社会とは、マグネシウムをエネルギー媒体として循環する社会の実現に向けた取り組みのことである。マグネシウムは軽量で、環境や人に優しく、資源的にも豊富に存在するため、近年、有効利用の拡大に向けて注目されている。本授業では、現代社会におけるマグネシウム利用の意義と今後の展望について概説する。			
第4講：「高性能EVを支える次世代パワー半導体の実装技術」 教授 大口 健一 ＜10月22日(木)17:30～19:00＞ SiC次世代パワー半導体は、電力ロスが非常に少なく、耐熱性にも優れる。これらの利点は、電気自動車(EV)の高性能化のために極めて有用であるが、SiC半導体をEVに導入するには、新たな電子部品実装技術の開発が求められる。本授業では、現在有望視されている実装技術を紹介すると共に、その実用化への課題についても解説する。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名	[11] ロボットプログラミング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報データ科学部 情報データ科学科 講師 南斉俊佑 (計2名)
授業概要	ロボットを思い通りに動かすには制御が不可欠です。実際のプログラミングを体験してみると、ロボットの制御に必要なスキルはもちろん、現在学んでいる数学や物理との関連についても学びます。		
授業方針	スライドを用いた座学と、体験型の実習により講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部1号館1階PC実習室102		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話: 018-889-3191 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「スマートサーボの制御プログラミング」 講師 南斉俊佑 技術専門職員 星崎みどり ＜11月1日(日)11:10～12:40＞ 本講座では、ロボットの構成要素である機械、電気電子、情報、制御について説明します。加えて、ロボットプログラミングの入門として、スマートサーボと呼ばれる近年のロボット開発でよく使われるモータを動かすためのプログラムを作成し、実際にモータを動かしてみます。このプログラミングを通して、プログラムの書き方はもちろん、実際のモノとプログラムのつながりを学びます。			
第2講: 「ロボットアームの組み立てと制御の方法」 講師 南斉俊佑 技術専門職員 星崎みどり ＜11月1日(日)13:20～14:50＞ 本講座では、実際にアーム型のロボットの組み立てを体験し、その仕組みについて説明します。また、組み立てたロボットの制御の方法やプログラミングについて説明します。第1講のプログラムを拡張し、アーム型ロボットの制御プログラムを作成します。このプログラミングを通して、普段勉強している数学と実際のロボットとの関連を学びます。			
第3講: 「振子型ロボットの組み立てと制御の方法」 講師 南斉俊佑 技術専門職員 星崎みどり ＜11月1日(日)15:00～16:30＞ 本講座では、実際に振子型のロボットの組み立てを体験し、その仕組みについて説明します。また、組み立てたロボットの制御の方法やプログラミングについて説明します。この振子型ロボットは、自分でバランスをとることができるロボットです。本講座では、バランスをとるための理論的な仕組みを学びます。実際にバランスを取らせてみることで、普段勉強している物理と実際のロボットとの関連を学びます。			
その他	筆記用具を持参してください。また、昼食も持参してください。		
テキスト	実習教材を配布します。		
参考文献			
関連科目	数学, 物理, 情報		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	〔12〕OR・データサイエンス入門 (数学×社会＝未来が変わる？ 高校数学で解き明かす)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 星野 満博 (計1名)
授業概要	基本的な高校数学を用いて、オペレーションズリサーチ及びデータサイエンスの初歩的内容にふれると共に、経済・経営・工学への応用と高校数学のその先を紹介します。数学が得意な人も、そうでない人も学べます。		
授業方針	データ・最適化・意思決定といったキーワードのもとに、大学で学ぶオペレーションズリサーチ (OR) やデータサイエンスの初歩的な内容を学習します。数理モデルの入門的内容を演習形式 (自ら計算) で学びます。高校で学ぶ最大最小化問題、確率統計との関わりについても紹介します。これらは、昨今の入試における現実事象を数学的に考察する問題や長文型の総合的な数学問題に接する際のヒントにもなるでしょう。文系理系どちらの方も受講可能です。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室 1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明徳館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日8:30～17:30) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 25名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「確率的数理意思決定 (場合の数と確率を応用します)」 ＜10月31日 (土) 9:30～11:00＞ 現代社会において、不確実性 (主に確率的な視点) と意思決定は非常に重要なキーワードです。例として買い物を考えます。何かを購入するときに、同じものであれば、できるだけ安く買いたい、その際、買うタイミングというのも一つの重要なファクターになります。今は買い時なのか、それとも今回パスして次回に買うべきか? このような未来の不確実な状況下での意思決定を、数学を使って考えてみましょう。この問題は高校数学とも関連していて、高度な数学が背景にあります。			
第2講: 「在庫マネジメントの数理 (関数の最大最小を用います)」 ＜10月31日 (土) 11:10～12:40＞ 商品を作って／仕入れて、お客さんに販売するという場面において、その商品の製造／仕入れの個数 (量) は重要な要素の一つとなります。たくさん作り／仕入れすぎると売れ残りが生じて損失を生みます。また、逆に少なすぎると得られたはずの利益が無くなる等、こちらも良くありません。お客さんが購入したいと思う量 (需要) に応じた最適な商品の個数を求める必要があります。この問題について、数学を用いて考えてみましょう。			
第3講: 「データサイエンス入門 (データの活用、平均値を用います)」 ＜10月31日 (土) 13:20～14:50＞ ここでは、主に時間の経過と共に変化するデータを扱い、予測やデータの特徴を見つける為の分析手法を紹介します (時系列分析といいます)。例えば、上記の第2講の問題では、既知の過去のデータから、未知の来月／未来の需要がどのくらいあるのかを予測できるならば、問題解決に向けて大きく前進できます。経済・経営的な視点も紹介します。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名	〔13〕植物バイオテクノロジーと国際貢献	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 准教授 増田 寛志 (計2名)
授業概要	鉄・亜鉛欠乏症は世界的課題です。植物バイオテクノロジーの技術を駆使して、主食であるお米の鉄・亜鉛価の向上の取り組みや、ミャンマー・バングラデシュ等の途上国との国際共同研究と国際貢献について紹介します。		
授業方針	プレゼンテーションを用いて講義を行います。授業の後に、感想を書いてもらいます。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明徳館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日8:30～17:30) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「植物バイオテクノロジーでミネラル栄養の高いイネを作出する。」 准教授 増田寛志 ＜10月3日 (土) 13:20～14:50＞ 育種交配、遺伝子組換えやゲノム編集技術を利用して、イネの鉄・亜鉛などミネラル栄養価を高める研究と、JICA専門家として現地の植物バイオテクノロジーの技術支援活動について紹介します。			
第2講: 「ミネラル栄養の高いイネで、アジアの途上国に貢献する。」 博士研究員 メイサンアウン ＜10月3日 (土) 15:00～16:30＞ 国際学会や国際共同研究、特にミャンマーやバングラデシュを対象に現地のイネ品種の鉄・亜鉛栄養価を高めた研究について紹介します。英語での講義になります。なるべく分かりやすい英語で話すので、是非高校生の皆さんも最新の研究内容を英語で聴くことに挑戦してみてください。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名	〔14〕動物心理学について学んでみよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 村松 明穂 (計1名)
授業概要	心理学とは、ヒトとヒト以外の動物の「こころ」の働きと行動について文理にまたがった視点から総合的に理解しようとする学問です。幅広い心理学の分野の中から、「動物心理学」の基礎知識について学んでみましょう。		
授業方針	動物心理学では、ヒト以外の動物の「こころ」について研究することをによって、ヒトの「こころ」の成り立ちや、それぞれの動物種についての理解を深めようとしています。様々な研究の紹介を通じて、動物心理学の基礎知識を学び、動物心理学の面白さにふれます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日8:30～17:30) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「動物心理学・比較心理学とは」 ＜10月8日(木)17:30～19:00＞ なぜヒト以外の動物の「こころ」を研究するのか学びます。			
第2講: 「動物の「こころ」の研究方法」 ＜10月15日(木)17:30～19:00＞ 心理学全般の研究法と動物の「こころ」を研究する方法について学びます。			
第3講: 「動物の知覚」 ＜10月29日(木)17:30～19:00＞ 視知覚を中心に様々な動物種の知覚の特徴について学びます。			
第4講: 「動物の社会的知性」 ＜11月5日(木)17:30～19:00＞ ヒト以外の動物の社会的知性について学びます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	〔15〕 翻訳文学を楽しもう！ (～想像力で異文化体験～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 尾崎 加奈 (計1名)
授業概要	似ているようで似ていない「読解」と「翻訳」。英文を「読む」・「訳す」とはどんな行為なのか。翻訳文学の例を見ながら楽しく理解を深めていきます。		
授業方針	全2回の授業。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室4		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日8:30～17:30) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「「読む」体験」 ＜10月10日 (土) 9:30～11:00＞ 「読む」とは実際にどんな行為なのか。客観的に分析していきます。 第2講: 「翻訳文学を楽しもう！」 ＜10月10日 (土) 11:10～12:40＞ 時代や文化を超えて、翻訳によって増す文学の魅力とは？			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 能代キャンパス
科目名 (サブタイトル)	〔16〕 不思議な木 (来て・見て・作ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	木材高度加工研究所 教授 栗本 康司 (計4名)
授業概要	大館の曲げわっぱ、どうやって作るか知っていますか？この講義では加工の原理を解説するとともに、その原理を利用してペットボトルに入った木を実際につけてみます。木の不思議な世界を体験しませんか？		
授業方針	物を作るには、そうなる原理があります。その原理を各自に考えてもらい、学ぶだけでなく、実際に見て、体験して、作ることがこの授業の方針です。授業に積極的に参加して、自分で作った不思議な木を持ち帰って下さい。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日8：30～17：30) 電話：018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「森と木を知ろう」 助教 沈 昱東 ＜10月17日（土）9:30～11:00＞ 森林・木材に関する基本的な事項を学ぶとともに、曲げわっぱ等の木材の変形の原理を学びます。			
第2講：「ペットボトルに入った木を作ろう」 准教授 野田 龍 ＜10月17日（土）11:10～12:40＞ 第1講をもとに、どうやったらペットボトルに木を入れることができるか考え、実際にやってみます。			
第3講：「ねじれる木を作ろう」 教授 山内 秀文 ＜10月17日（土）13:20～14:50＞ 木をねじる？そんなことができるの？ここではその原理を学び、実際に作ってみます。			
第4講：「木の特性を変える」 准教授 渡辺 千明 ＜10月17日（土）15:00～16:30＞ 木材のもつ性質に「狂う」、「腐る」、「燃える」があげられる。本講では、これらの性質を化学的手法により変えることを学び、多様な木材利用について考えます。			
その他			
テキスト	当日、講義内容をまとめたプリント教材を配布します。		
参考文献	コンサイス木材百科（秋田文化出版）、森林科学シリーズ4「フォレスト・プロダクツ」（共立出版）		
関連科目	物理、化学、生物		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	〔17〕 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 教授 アティラ エグリナギ (Attila Egri-Nagy) (計3名)
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方針	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	国際教養大学 企画戦略課 (平日9:00～17:00) 電話: 018-886-5812 E-mail: strategic-planning@aiu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「Esoteric Project Euler – Collaborative Programming」 教授 アティラ エグリナギ (Attila Egri-Nagy) ＜10月31日(土)11:10～12:40＞ In a fun, puzzle-solving session, we will do pen and paper programming in a language that can be learned on the spot. No previous coding experience is needed! To make up for the short time, we will solve problems in groups, developing tools for each other.			
第2講: 「Talking to strangers and taking U-turns in life」 プロジェクト特命教授 ラナハンサ ダサナヤカ (Ranahansa Dasanayak) ＜10月31日(土)13:20～14:50＞ What if one conversation with a stranger could change your future? This talk follows an unexpected life journey, showing how curiosity, courage, and embracing life's U-turns can open extraordinary opportunities—and how a liberal arts education at AIU can help you prepare for them.			
第3講: 「日本語教育とネイティブ日本語教師」 教授 邊 姫京 (Byun Hi-Gyung) ＜10月31日(土)15:00～16:30＞ 日本語のネイティブであれば、日本語が教えられるのか、学習者はネイティブ教師に何を期待し、教師はその期待に応えられているのか、を中心に海外におけるネイティブ日本語教師への期待と役割について考えてみます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	〔18〕 企業事例で学ぶ経営学 (日本企業から世界の企業まで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 黒坂和彦 (計1名)
授業概要	身近な企業や世界で活躍する企業の事例を通して、経営学とマーケティングの基本を学びます。企業はなぜ成功するのか、商品はなぜ売れるのかを分かりやすく解説します。		
授業方針	身近な企業や商品の事例を多く取り上げ、講義だけでなく質問や簡単なワークも取り入れながら、経営学とマーケティングを楽しく学びます。専門知識は不要です。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室 1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00～17:00) 電話: 018-836-1342 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: kurosaka@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「経営学とマーケティングの世界」 ＜10月30日(金)17:30～19:00＞ 経営学とマーケティングの基本を学び、そのつながりについて理解します。身近な企業の事例を取り上げながら、企業がどのように価値を生み出し、商品やサービスを顧客に提供しているのかを考えます。			
第2講: 「日本企業・秋田企業の強みを探る」 ＜11月6日(金)17:30～19:00＞ 日本企業や秋田県内企業の事例を取り上げ、企業の経営戦略やマーケティング戦略について学びます。地域企業ならではの強みや特色、競争力を高めるための工夫について考えます。			
第3講: 「世界で成功する企業の秘密」 ＜11月13日(金)17:30～19:00＞ 世界で活躍する企業の事例を通して、グローバルな経営戦略とマーケティングについて学びます。海外市場で成功するための考え方を、講師の海外勤務経験も交えながら紹介します。			
その他			
テキスト	講師作成のPowerPointの資料を中心に授業を進めます。		
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	〔19〕 ChatGPT時代の英語勉強法 (AIがあるのに英語を勉強する理由)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 国際学科 教授 三浦 薫 (計1名)
授業概要	AIを使えば英語は瞬時に日本語に翻訳が可能な時代に、なぜ私たちは英語を学ぶのでしょうか。本講座では、AIにできること、できないことを考えると同時に、これからの時代に本当に必要な英語力とその効果的な学び方を考えます。		
授業方針	AIの効果的な活用を通して英語学習のモチベーションアップにつなげる		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室 1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学・教務部教務課 (平日9:00～17:00) 電話: 018-836-1342 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「ChatGPT時代の英語勉強法①」 ＜10月29日(木)17:30～19:00＞ ChatGPT時代の英語勉強法は答えを作る機械ではなく、何回も質問できる家庭教師 第2講: 「ChatGPT時代の英語勉強法②」 ＜11月5日(木)17:30～19:00＞ 語学を学ぶことの本当の意味は何か			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[20] “私”ってなんだろう －自分の心がわからない...－ (高校生のための心理学入門)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合政策学部 法律学科 講師 瀬戸 泰 (計1名)
授業概要	この授業では、「心の構造や仕組み」について、心理学の様々な視点から考えていきます。私たちの心ってどうなっているんだろう…、そうした疑問について「分かりやすく」をモットーに説明しますので、お気軽にご参加ください。		
授業方針	資料を配布し、パワーポイントのスライドを用いて対面式の講義を行います。 また、自分の心理状態に関する質問紙に回答する機会も設ける予定です。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学・教務部教務課 (平日9：00～17：00) 電話：018-836-1342 E-mail：kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：48名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「“私”ってなんだろう －自分の心がわからない...－ ①」 ＜12月5日(土)9:30～11:00＞ 心理学では人の心をどのように捉えていくかということについて概要を学ぶとともに、特に性格に関する代表的な理論を取り上げ、質問紙に回答することで自分の心の状態を確認してみます。 第2講：「“私”ってなんだろう －自分の心がわからない...－ ②」 ＜12月5日(土) 11:10～12:40＞ 第1講で自分の性格傾向を確認した上で、でも、「性格で人の心は決まるのか」という点を中心に、より様々な視点から私たちの心について考えていきます。こうした中で、講義の最後には心の全体像が浮彫りになってくる感覚を持っていただけるものと思います。			
その他	持ち物は筆記用具のみで結構です。		
テキスト	講義内容に関する資料を毎回配布します。		
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	日本赤十字東北看護大学
科目名 (サブタイトル)	〔21〕 高校生のための看護学入門 (赤十字の災害・国際看護)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 准教授 新沼 剛 (計1名)
授業概要	災害や紛争などの人道危機における赤十字の看護師の活動について理解と関心を深めます。		
授業方針	赤十字に精通した教員が授業を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字東北看護大学・渡部忠保 (平日9:00～17:00) 電話: 018-829-3023 E-mail: conso@std.rctohoku.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: niinuma@rctohoku.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 210名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「日本赤十字社による医療救護活動」 ＜11月13日(金)17:30～19:00＞ 日本赤十字社の国内災害救護を概観したうえで、医療救護活動における看護師の活動について理解を深めます。			
第2講: 「国際赤十字・赤新月運動(国際赤十字)による救援活動」 ＜11月20日(金)17:30～19:00＞ 国際赤十字・赤新月運動による救援活動を概観したうえで、災害および紛争下での看護師の活動について理解を深めます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	〔22〕 ようこそ保育の道へ (地域の親子とのかかわりを通して感じる子どもの世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 生活こども専攻 教授 大曾基宣 (計2名)
授業概要	保育士、幼稚園教諭を目指す生活こども専攻で開講している授業の中から「保育原理」「幼児理解」「乳児保育」「保育指導法」に関連する授業を行います。		
授業方針	講義と演習を組み合わせ、高校生に分かりやすく授業を行います。当日は、あそび場で地域の親子と一緒に遊ぶ時間を設けます。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB02教室・マインドフルネスASOBI研究所		
会場住所	秋田市寺内高野10-33（秋田駅西口より秋田中央交通バス土崎方面（新国道経由）「高野二区」下車（420円））		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局（平日9：00～17：00） 電話：018－845-4111 E-mail：tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：4名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「ようこそ保育の道へ」 専任講師 藤田洋子 ＜10月10日(土)9:30～11:00＞ 「育つ」ってどういうこと？保育ってどういうもの？「子どもの育ち」について考えるとともに、保育に関わる仕事についての学びを深めます。あそび場で地域の親子と一緒に遊ぶ時間を設けます。			
第2講：「子どもと一緒に遊び体験」 教授 大曾基宣 ＜10月10日(土)11:10～12:40＞ 地域の親子と一緒にあそび場で遊びを体験し、その後に振り返りを行います。			
その他	上履き、筆記用具を各自ご持参ください。子どもたちと関わる時間がありますので、制服よりも動きやすい服装がおすすめです。スカートよりもズボンが理想的です。（子どもや保護者と関わるのが不安な方はその場の雰囲気を感じるだけでも問題ありませんので、ご安心ください。）		
テキスト			
参考文献			
関連科目	子育て支援、幼児理解、地域・遊び実践演習		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	〔23〕 地域食材の魅力を再発見する スイーツ実習 (五城目産キイチゴ×秋田県産米粉の グルテンフリースイーツ)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 健康栄養専攻 准教授 豊嶋瑠美子 (計2名)
授業概要	五城目町特産の「キイチゴ」と、秋田が誇るお米から作られる「米粉」を組み合わせ、小麦アレルギーに対応した新しいお菓子作りに挑戦します		
授業方針	栄養士を目指す高校生向けとして食物アレルギーの内容も含め「誰もが美味しく食べられる」グルテンフリースイーツを作ります。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 P102・3		
会場住所	秋田市寺内高野10-33（秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面（新国道経由）「高野二区」下車（420円））		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局（平日9：00～17：00） 電話：018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「秋田県産の食材の紹介と食物アレルギー対応について」 准教授 豊嶋瑠美子 ＜11月28日（土）9:30～11:00＞ 秋田県産の食材を使った菓子と食物アレルギーの代替食品などを学ぶ			
第2講：「秋田県産の食材を使った菓子製作」 助手 秋山亜樹 ＜11月28日（土）11:10～12:40＞ きいちごを使用したロールケーキ・寒天ゼリーなどを実習する。			
その他	エプロン、三角巾、ハンドタオル、筆記用具をお持ちください。		
テキスト			
参考文献			
関連科目	調理学、基礎調理実習		

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字東北看護大学 介護福祉短期大学部
科目名	〔24〕高齢者の身体的特性と生活支援	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 准教授 藤沢緑子 (計1名)
授業概要	高齢者疑似体験装具を装着して高齢者の身体的特性を体験的に学び、高齢者の気持ちや身体機能の低下による日常生活への影響、生活支援のあり方やコミュニケーションの取り方等について考えてみましょう。		
授業方針	前半では高齢者疑似体験装具を装着した体験学習を行い、後半では体験の振り返りを含めた講義を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室 1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部 (平日9：00～17：00) 電話：018-829-3000 E-mail：matuhashi@rctohoku.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：14名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「高齢者の身体的特性と日常生活への影響」 <11月28日(土)13:20～14:50> 高齢者疑似体験装具を装着し、さまざまな日常生活上の動作を体験しながら学びます。 第2講：「高齢者に対する日常生活支援のあり方」 <11月28日(土)15:00～16:30> 高齢者疑似体験を踏まえ、高齢者に対する日常生活支援のあり方や安全に配慮した生活環境づくり、高齢者とのコミュニケーションの取り方等について学びます。			
その他	高齢者疑似体験の際には腕や足にサポーターや重りを装着します。動きやすい服装（制服でも可）で参加してください。		
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	〔25〕 楽しく学べる保育科入門 (～子どもと絵本～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 教授 蛭田 一美 (計2名)
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。		
授業方針	講義科目や演習科目を組み合わせながら、簡単な理論と実際の動きを融合させた授業の展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。		
会場・教室	聖園学園短期大学 201教室 (変更の可能性あり)		
会場住所	秋田県秋田市保戸野すわ町1-58		
欠席連絡先	聖園学園短期大学 (平日9:00～17:00) 電話: 018-862-0337 E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp (欠席連絡先と同じです)		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります 第1講: 「絵本と出会う」 教授 蛭田 一美 <10月28日(水)17:30～19:00> 保育の場で、絵本は欠かせないものです。絵本に親しみながら、先生や友だちと心を通わせていきます。子どもが絵本を手にとってみたくなるとはどんなことなのかを一緒に探ってみましょう。 第2講: 「科学絵本を読んでみよう」 講師 大原 かおり <11月4日(水)17:30～19:00> ここ数年の絵本界のトレンド「科学絵本」。大学入学共通テスト国語の問題にも取り上げられた絵本をはじめ、子どもも大人も楽しめるさまざまな科学絵本を読んでみましょう。			
その他	筆記用具、好きな絵本を一冊 (第1講)		
テキスト	なし		
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名	〔26〕 オリジナルペン立てを作ろう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産機械技術科 講師 高橋 憂 （計1名）
授業概要	3DCADを使用して設計について学び、レーザー加工機を使用し、実際に設計したものを加工するところまで行います。さらに加工したものを組み立て、自分だけのオリジナルペン立ての設計・製作を行います。		
授業方針	実際に授業で使用している機器に触れてもらい、実習を通してものづくりの流れや楽しさを知ってもらう。		
会場・教室	第1講：秋田職業能力開発短期大学校 209室 第2講：秋田職業能力開発短期大学校 204室		
会場住所	大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校（平日9：00～17：00） 電話：0186-42-5600 E-mail：akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「ペン立ての設計」 <12月5日(土)9:30～11:00> 3DCADで今回製作するペン立てのモデリングやアセンブリの演習を行います。 第2講：「ペン立ての加工・組み立て」 <12月5日(土)11:10～12:40> 設計したペン立てのデータから部品加工と組み立ての体験を行います。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名	〔27〕電子回路の設計から製作までを体験しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 講師 堀内 健太 (計1名)
授業概要	現代社会に不可欠な技術である電子回路について、簡単な回路をテーマに電子部品の役割りや回路図の描き方を学び、電子回路基板の組立てをします。		
授業方針	電子回路の基礎を学び、設計から製作までの一連の工程を体験します。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 307教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校（平日9：00～17：00） 電話：0186-42-5600 E-mail：akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「電子部品の役割りと回路図の描き方」 ＜11月28日（土）9：30～11：00＞ フラッシュ回路について使用する部品の役割りを学び、実験で確認をします。続いてフラッシュ回路の設計を行い、電子回路図を描きます。			
第2講：「電子回路基板の組立て」 ＜11月28日（土）11：10～12：40＞ はんだこての使い方を練習してから、前講で描いた回路図の電子回路基板の組立てを行います。完成した基板が正しく動作しているか確認をするため、測定実験を行います。			
その他	筆記用具、用意できる場合は作業着(上着のみ)。はんだ付け作業をするので前髪が長い場合は帽子またはピンで留めてください。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します。		
参考文献			
関連科目			

令和8年度後期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名	〔28〕木材の強度性能の把握	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 能開教授 松岡 亘 (計1名)
授業概要	木材について、JISに基づく強度試験を実施する。その後、表計算ソフト等を用いて、その挙動と応力性状を把握する。		
授業方針	木材の強度試験を通して、材料試験機ならびに計測機器を用いて、データを取得し、挙動と応力性状を確認します。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 材料実験室ならびにパソコン室		
会場住所	大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校（平日9：00～17：00） 電話：0186-42-5600 E-mail：akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります 第1講：「木材の強度試験」 <11月28日(土)9:30～11:00> 材料試験機ならびに計測機器を用いて、加力試験を行う。 第2講：「木材の挙動と応力性状の把握」 <11月28日(土)11:10～12:40> 得られた試験データから木材の挙動と応力性状を把握する			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			